



特集展示

ひとよし くま
人吉磨の
The treasures of Hitoyoshi Kuma
玉手箱

2024.10.22 tue-12.15 sun 九州国立博物館 太宰府天満宮横

4階 文化交流展示室 第9・11室 月曜日休館 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※会期中に一部展示替えを行います
一般700円 大学生350円(学生証等の提示をお願いします。) 高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は無料 www.kyuhaku.jp ハローダイヤル 050-5542-8600
(午前9時～午後8時/年中無休)

※11月3日は「留学生の日」で留学生は文化交流展の無料観覧日

※11月17日は「家族の日」で中学生以下のお子様の同伴者2名は文化交流展が無料

*1家族(グループ)につき2名まで

※障害者手帳等をご持参の方とその介護者1名は無料です。展示室入口にて障害者手帳等(詳細についてはHP等をご確認ください)をご提示ください。

※キャンパスメンバーズの方は無料でご観覧いただけます。展示室入口にて学生証、教職員証等をご提示ください

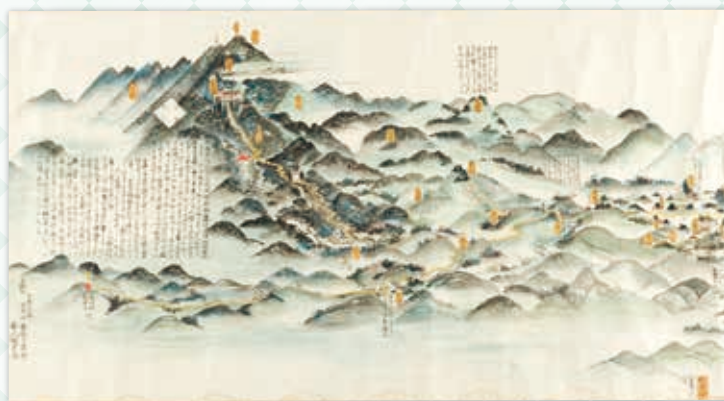
※高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は、展示室入口にて生年月日がわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。

左上から時計回りに 人吉米良絵図(熊本県立図書館蔵)/孔雀文簪(個人蔵)/免田式土器(個人蔵)/花手箱(熊本県伝統工芸館蔵)/重要文化財阿彌陀如来および阿闍梨像(明導寺(湯前町)蔵)/ウンスンカルタ(九州国立博物館蔵)/人吉市指定有形文化財 相良長頼像(相良神社(人吉市)蔵)



熊本県の南東部に位置する人吉球磨は、緑豊かな九州山地や一級河川「球磨川」など、山河の恵みが人々の生活を育んできました。

本展では、約3万年前の石器から、中世より約700年地域を治めた相良氏、民衆が育んだ独特の仏教文化、そして今も愛されつづける伝統工芸品など、人吉球磨の魅力を伝える歴史資料を一堂に会し、皆様にご紹介します。また、令和2年の豪雨災害の被災から見事に復活した文化財も展示し、今後の復興・復旧を支援いたします。玉手箱の蓋をあけて、今も歴史が息づく人吉球磨の魅力を発見してください。



金色に輝く、類まれな鏡

重要文化財 才園古墳出土 鍔金鏡
(古墳時代 6世紀 あさぎり町教育委員会蔵)

江戸時代の人吉球磨

球磨絵図
(昭和初期 人吉市教育委員会蔵)



歴史の謎を解いた、肥後の宗像家文書

豊臣秀吉判物 (安土桃山時代 1586年 多良木町教育委員会蔵)



四天王に守られる姫の祈り

熊本県指定重要文化財 舍利容器
(江戸時代 17世紀 東林寺(人吉市)蔵)



相良氏が祈りをささげた仏さま

重要文化財 阿弥陀如来坐像
(鎌倉時代 13世紀 願成寺(人吉市)蔵)



毘沙門天、被災からの復活

板絵御正体
(安土桃山時代 1610年 青井阿蘇神社(人吉市)蔵)



最寄り駅: 西鉄太宰府駅から徒歩約10分
■最寄り駅へのアクセス
【西鉄電車】西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線で西鉄太宰府下車
※特急/急行料金不要
【JR】JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約6分)、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用
【西鉄バス】博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から西鉄太宰府下車(約40分)
■車 【九州自動車道】太宰府ICから約15分・筑紫野ICから約20分
【タクシー利用】JR二日市駅から約15分・福岡空港から約30分
駐車場(有料)には限りがございますので、予めご了承ください。
※身障者用駐車場はどちらの入口からでも入れます



九州国立博物館

太宰府天満宮横

イベント情報

- ◆10/26(土): ウンスンカルタ体験イベント
- ◆11/12(火): ミュージアムトーク
- ◆11/16(土)・11/30(土): リレー講座
- ◆11/24(日)・12/1(日): 内村光良監督映画「夏空ダンス」上映会
- ◆会期中: 人吉球磨パネル展(1階エントランス)

※ミュージアムトークは要観覧料、他は参加無料!



詳細は当館HPをご覧ください。